

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：新春緊急学術フォーラム「少子化・国際化の中の大学改革」

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

- ・共催：一般社団法人国立大学協会、日本私立大学団体連合会
- ・後援：文部科学省、一般社団法人日本経済団体連合会

3 開催日時：平成28年1月7日（木） 13時00分～17時40分

4 開催場所：日本学術会議講堂

5 開催趣旨：

少子化、国際化、理科離れ、実践的教育の重視論等、わが国の高等教育をめぐって種々の環境変化や動きが顕在化している。一方で、高等教育は人材育成の最終過程であるとともに、大学において行われる研究活動を通じて、産業・社会の革新がもたらされる。時代の展開において、わが国の大学は何処に向かって舵をとるべきかを、大学人、政治・行政、経済界、メディアを代表する識者による問題提起と討論によって探った。

6 参加人数：

講演者・随行者：21名

その他の参加者：175名

7 特記事項：

日本学術会議では、昨年10月15日幹事会声明（人文社会科学系のあり方に関する声明への賛同・支援への謝意と大学改革のための国民的合意形成に向けての提案）の中で、「高等学校・高等専門学校卒業生はもとより、社会人にとっても魅力的な大学となるための学修内容や学部・学科構成のあり方、及び大学の研究成果が基礎、応用、実用のそれぞれの段階でより社会の発展に資するものとなるためのあり方、さらにグローバル時代に世界の学生や研究者が魅力を感じる教育研究組織となるための我が国の大学のあり方等について、大学・学術界、産業界、一般の方々が自由に意見を交わして合意を形成するための議論の場を設置すること。」との提案を行った。本学術フォーラムはこれを受けて、国立大学、私立大学の代表者等の大学セクター、経済界、メディア界にも呼びかけて開催したものである。

また、文部科学省からも、鈴木寛大臣補佐官が出席し、講演及び質疑応答を行った。